

アフタヌーンのひとつときを楽しむ

声楽

ピアノ

朗読

6月29日(木)

午後2時～4時(開場1時30分)

会場: 蕨市民会館コンクレレホール

梅雨明けが待ち遠しい6月の末、午後のひとつときをオペラ歌手の歌声、プロのピアニストによるショパンの曲を楽しんでみませんか。さらに地元さいたま市で活躍している朗読サークル「声の会」有志によるリーディングドラマの世界も楽しめます。

声楽: カルメンから「ハバネラ」、チェルネントラから「悲しみと涙の中に生まれて」そして日本の歌を予定しています。

ピアノソロ: 雨だれ、別れの曲、ノクターンなどのショパンの曲を予定しています。

朗読: 「おおきな木」「十二支のはじまり」他の作品を用意しています。



小泉詠子
(オペラ歌手)



山形明朗
(ピアニスト)



「声の会」の公演風景

入場料: 500円

(全自由席)

主催: 彩の国いきがい大学蕨学園連絡協議会

連絡先 迎満寿子 (TEL09057533787 又は ✉masuko8819@yahoo.co.jp)

アフタヌーンのひとつときを楽しむ（声楽・ピアノ・朗読）

《出演者プロフィール》

1 小泉詠子（こいずみえいこ）



東京藝術大学大学院博士課程修了。博士号取得。日本音楽コンクール声楽部門(オペラ・アリア)第三位受賞。藤沢オペラコンクール第二位受賞。宗教曲のソリストとして出演を重ね、モーツァルト「レクイエム」では、プラハ国立歌劇場管弦楽団や、コソボ・フィルハーモニー交響楽団&アンサンブル金沢等と共演。二期会デビューは『ファウストの劫罰』マルグリット役。その後、『リゴレット』ジョヴァンナ役、『ナクソス島のアリアドネ』ドゥリヤーデ役でも出演。『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル役には定評があり、2008～14年、サイトウ・キネン・フェスティバル松本や、15年、日生劇場の主催公演などで、同役での出演を重ねた。16年、『イェヌーフア』パレナ役で新国立劇場でデビュー。文化庁新進芸術家派遣制度により、イタリアに留学。現在、東京芸術大学教育研究助手。二期会会員

2 山形明朗（やまがたあきら）

3歳からピアノを、14歳から歌をはじめた。

美とロマンと歌をこよなく愛し、あたたかく誠実な音色と深い呼吸から生まれる唯一無二の「間」は、聴衆と共演者を強くひきつける。

第12回宝塚バガ音楽コンクールピアノ部門第一位、同時に特別賞受賞。

ソリストとして様々なピアノ協奏曲をオーケストラと共演。2013年にはルーマニア国立コンスタンツァ歌劇場オーケストラに招聘され、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を演奏、ヨーロッパデビューを果たした。

ソロ以外でも様々な楽器、歌手とのアンサンブル活動を展開。また、ジャンルを超えたコラボレーションにも積極的に参加し、表現を追求している。

東京藝術大学大学院修士課程修了。 ホームページ：<http://akira-yamagata.jp/>



3 朗読サークル「声の会」

2002年4月、約20名で発足。アドバイザーは、浅川安子氏。発足の翌年からさいたま芸術劇場で定期公演を実施している。「平家物語」、「夢十夜」、「星の王子さま」、「ギリシャの男たち トロイアの女たち」、「にぎりえ」、「流れる星は生きている」、「ヴィヨンの妻」、「放浪 林芙美子抄」、「銀河鉄道の夜」、「女三の宮 源氏物語から」等の公演をこなしている。朗読に音楽、照明を取り入れた舞台表現、リーディングドラマが特色。今回は会の有志：村田里美、鬼久保千晴他6名による出演。10月7日(土)、



声の会 HP から

リーディングドラマ『登美子と晶子と鉄幹と』の定期公演をさいたま芸術劇場で行う予定。